姫路市広畑本町貯留管他建設工事

広畑タイムス

令和４年２月　発行　第１号

全長 1.5km の貯留管建設工事

本工事は広畑地区の浸水対策事業として、旧広畑幼稚園から広畑第一ポンプ場までの間に、泥土圧シールドにより、仕上がり外径 3.2mのコンクリート製の貯留管を約 1.0km、夢前川公園から中門通までの間に泥濃式推進工により、仕上がり外径 0.8mのコンクリート製貯留管を約 0.5km 地中に埋設する工事です。総延長は 1.5km で貯留量は約 8000 ㎥となり、大雨の際はこの貯留管に一時的に雨水を取り込み、浸水対策を行うものです。

２ 月現在は、泥土圧シールドマシンの発進に向け、準備を進めています。

泥土圧シールドマシンは前面のカッター(刃)を回転させながら土を削り取り、加泥材を混ぜ合わせることで、掘削した土を流動化させ、地山に押し当てることで、地盤の崩壊を防ぎながら掘り進みます。掘った後には、セグメントと呼ばれるコンクリートのブロックをマシン内部で、トンネルの壁面を構築します。構築されたセグメントにジャッキを押し当てて、シールドマシンを前進させる。これを繰り返し、掘削をしながらトンネルの壁を連続して構築していくことが特徴的な工法です。

シールド発進立坑　防音ハウス
このハウスの中からシールドマシンが発進します。

泥土圧シールド　シールド外径 3.84m　全長 8.82m　重量 108 t
工場で運びやすいように分割し、現場にて組立を行います。

令和４年５月、シールドマシン発進へ

１月から２月上旬にかけては、シールドマシンの発進に向け、マシンを地下に投入するための『立坑』と呼ばれる縦穴に防音ハウスを設置しました。

シールドマシンでの掘削作業は昼夜での作業となるため、夜間に騒音等が発生しないよう、慎重に作業を進めていきます。

２月から４月にかけては、主に立坑内で、シールドマシン発進に向けての準備作業を行う予定で、マシンが掘削できるようにトンネルの入り口である『坑口』の設置や掘削するまでの間にマシンを置いておく『架台』の設置、マシン本体の組立を行います。

シールドマシンの掘削面（接写）
先端が強化されたカッターの刃で掘り進めます。

－進捗状況（2022 年 1 月 31 日現在）－

・シールド発進立坑・防音ハウス設置完了

・シールドマシン発進準備中（シールド発進立坑内）

－お問い合わせ先－

事業主体：姫路市下水道局
TEL：079-221-2661

発注者　：日本下水道事業団
TEL：078-752-2405

施工者　：前田・宮本特定建設共同企業体
TEL：079-263-8471